

図3 Phase-Lock法の概念図. 実験は Phase-Lock 角度 36 度, 振動数 1Hz, 迎角 35 度, 振幅 7 度, 主流速 30m/s の条件で行った.

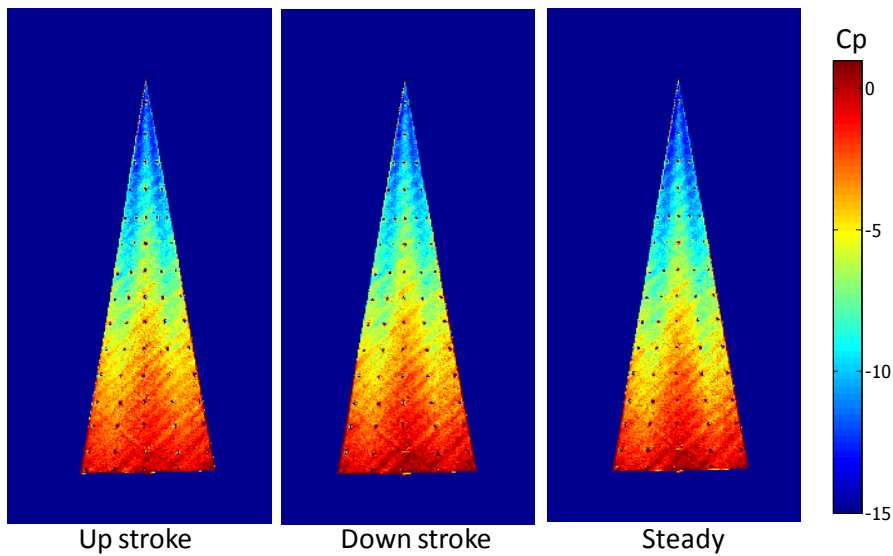


図4 各状態での計測結果. デルタ翼の生じた前縁剥離渦を捉えることはできたが, 各状態の表面圧力場に顕著な違いは見られなかった.

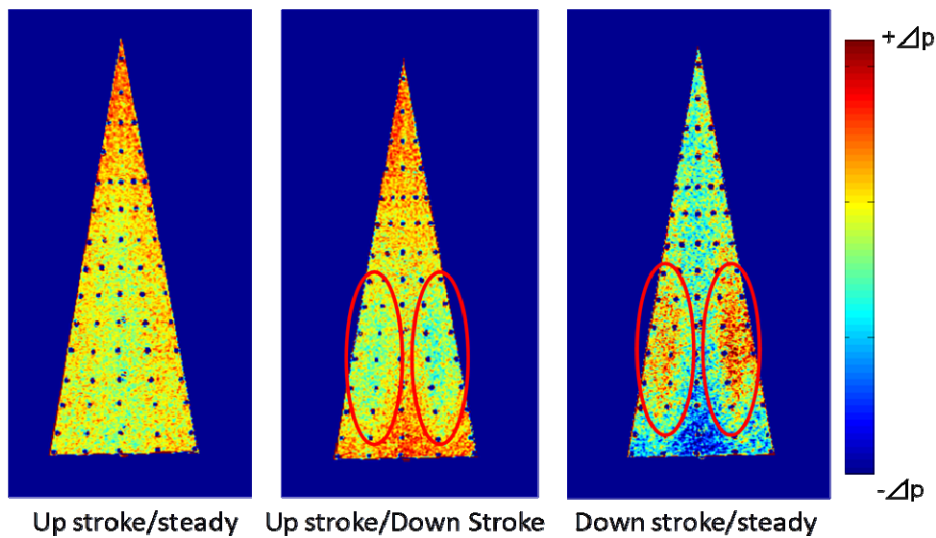


図5 各状態での計測結果を割った場合. 前縁剥離方長さは Up Stroke と Steady ではほぼ変わらず, Up Stroke と Down Stroke では Up Stroke の方が長く, Down Stroke と Steady では Down Stroke の方が短いことが分かる.